

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	2 郷土の伝統文化の継承			

事業名		文化財保護事業						
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係						
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者						
	どのようにしたいか(意図)	文化財に対する理解を深め、国・県・町指定文化財の維持管理や伝統文化の継承への意識が高まります。						
事業費(千円)		2018 年度決算額		2019 年度決算額 対前年比(%)		2020 年度予算額 対前年比(%)		
		3,754		1,161 31%		1,362 117%		
財源内訳	国・県支出金	17	10	59%	10	100%		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0	0	0		
	一般財源	3,737	1,151	31%	1,352	117%		
評価指標		2017		2018		2019		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①				0			0	
指標②				0			0	
主な事業内容		1 文化財説明板等の修繕 町内に計59基設置 2 文化財補助金の交付 東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財の所有者や保存団体等へ補助金を交付 3 文化財保護審議会の開催						
事業実績		1 文化財説明板等の修繕 7基修繕342,760円 2 文化財補助金の交付 保存伝承事業補助金交付:5団体212,000円 保存事業(保存修理等)補助金交付:1団体338,400円 3 文化財保護審議会の開催 委員7名、年3回						
課題		1 場所が分かりにくい文化財があります。 2 地域の伝統文化に対して関心が低くなり、伝統文化の担い手が少なくなっています。						
評価視点						総合評価		
必要性		有効性		効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				1 指定文化財や関心の高い文化財については、ホームページ等へ場所や案内を掲載して広報することが必要です。			
	現状維持			○	2 町内各地域の伝統文化の保存会が集まって情報交換する機会を設けたり、活動を紹介して支援していきます。			
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

令和 2 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 1 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		天白遺跡発掘調査事業						
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係						
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者						
	どのようにしたいか(意図)	発掘調査報告書・郷土資料館常設展示・天白遺跡公園により、東浦の遺跡について理解を深めます。郷土の歴史への関心が高まります。						
事業費(千円)		2018 年度決算額		2019 年度決算額 対前年比(%)		2020 年度予算額 対前年比(%)		
		5,790		5,410 93%		1,177 22%		
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0		
	受益者負担	0		0 0		0 0		
	その他特定財源	0		0 0		0 0		
	一般財源	5,790		5,410 93%		1,177 22%		
評価指標		2017		2018		2019		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①				-				
				0			0	
指標②				-				
				0			0	
主な事業内容		1 天白遺跡の発掘調査(平成29年度) 2 天白遺跡の発掘調査成果をまとめた発掘調査報告書の作成(平成30・令和元年度) 3 天白遺跡公園整備(令和2・3年度) 土地区画整理事業地内の公園に、調査で見つかった竪穴建物等の遺構を表現し、遺跡を紹介する公園整備事業を実施						
事業実績		・発掘調査報告書の印刷 300冊、577,500円						
課題		・遺跡公園としての表現方法や、分かりやすさ、使いやすさ、耐久性、安全性等を備えたものができるかどうか課題です。						

評価視点										総合評価			
必要性			有効性			効率性				A			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い			やや高い	高い
			○										○

今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				・竪穴建物等の遺構を表現するという整備例は他の類例はなく、また、限られた公園スペース内で表現するより良い方法を調査検討する必要があります。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		郷土資料館事業								
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係								
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者								
	どのようにしたいか(意図)	企画展や講座・教室で郷土資料館へ来館し、東浦の歴史や文化財に親しみます。ガイドボランティアとして活動し、郷土の魅力を伝えます。多くの方に東浦の歴史や文化財への関心を高め、郷土に対する愛着を持ってもらうきっかけになります。								
事業費(千円)		2018 年度決算額		2019 年度決算額 対前年比(%)		2020 年度予算額 対前年比(%)				
		22,056		3,692 17%		5,931 161%				
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0				
	受益者負担	719		611 85%		844 138%				
	その他特定財源	0		0 0		0 0				
	一般財源	21,337		3,081 14%		5,087 165%				
評価指標		2017		2018		2019		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		郷土資料館の来館者数						人		
		25,235	25,000	101%	24,354	25,200	97%		24,133	30,000
指標②		東浦ふるさとガイド協会の会員数						人		
		39	44	89%	38	46	83%		35	40
主な事業内容		1 企画展の開催 春・秋の企画展、ミニ企画展の開催 2 ガイドボランティア養成講座の開催 東浦ふるさとガイド協会の育成支援 3 講座・教室の開催 東浦の歴史や文化財に関する講座、陶芸教室の開催								
事業実績		3月5日～3月31日まで休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 1 春の企画展:「火縄銃展 一信長が鉄砲を使った村木砦の戦い」、入館者数4,597人 秋の企画展:「い・ろ・ど・り ー絵画コレクションー」、入館者数2,202人 2 ガイドボランティア養成講座:5回、受講者数32人 東浦ふるさとガイド協会の会員数:35人(新規会員数1名) 3 歴史関係講座:8講座216人、陶芸関係講座:6講座83人								
課題		1 資料館の認知度や企画展の情報が十分知られていません。 2 ガイドボランティアの新規会員の減少、会員の高齢化が進んでいます。 3 子どもや若い世代の参加が少ないです。								
評価視点						総合評価				
必要性		有効性		効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A		
			○				○			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					1 多くの人に企画展へ来館してもらえるよう、効果的な宣伝や興味・関心を持ってもらえる展示内容を考えていきます。				
	現状維持			○		2 ガイドボランティアの活動に興味を持ってもらえるような講座内容の検討を行います。				
	縮小					3 資料館が開催する子ども向けの講座に参加してもらえるよう、内容や開催日時の検討を行います。				
	休廃止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性				